

栃木兼那須塩原市立三島中学校  
第3学年出張授業資料

## 高校入試に向けて、今すべきこと

「価値・意味・秩序」。「自分から進んで学ぶ力」、「自律的に活動する能力」を身につけよう！



2024年10月22日(火)

14:10～15:05

三島中学校体育館

開倫塾

塾長 林明夫

開倫塾日本語学校理事長・校長  
公益社団法人栃木県経済同友会

Q 1 :好きな言葉はありますか。もしあったら、自己紹介代わりに、いくつか、紹介してください。

A :あります。たくさんあります。

- (1)「ブルドッグ魂」…食いついたら離すな。
- (2)「練習で泣いて、試合で笑え」
- (3)「一所懸命」…「一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組み」
- (4)「初心忘るべからず」(世阿弥)
- (5)「積小為大(せきしょういだい)…小さいことでも、コツコツ積み上げ、大を為す。志を成し遂げる(二宮尊徳)
- (6)「人生は、青天井、一生、青天井」
- (7)「一生勉強、一生青春」(相田みつを)



<ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク (I)」です>

皆様には好きな言葉がありますか。あったら1つ書いてください

---

Q2 : ところで、サブテーマの、「価値・意味・秩序」とは何ですか。「自律的に行動する能力」とは何ですか。

A : 大切なことを行うときにとても役に立つ、3つの心構えです。

(1) 「価値(大切さ)」

○第一に、ものごとを行うときには、そのことの「価値(大切さ)」とは何かを、まず考えること。これを、おすすめします。

(2) 「意味(意味付け)」

- ①次に、そのことの、自分にとっての意味を考える。
- ②そして、自分にとっての「意味付け」を行うこと。
- ③これを、おすすめします。

(3) 「秩序」

- ①最後に、では、どうするか。何をするかを決める。
- ②一度にたくさんはできないことが多いので、何をしないかをも決める。
- ③自分の力で決める。「自己決定」。自分で、ルールを決め、「秩序」正しく行動する。

(4) 「自律的に行動する能力」

- ①「高い志をもつ」
- ②そして、「自分の行動を自分で律する、コントロールしながら行動する能力」を目指す。
- ③これを、おすすめします。



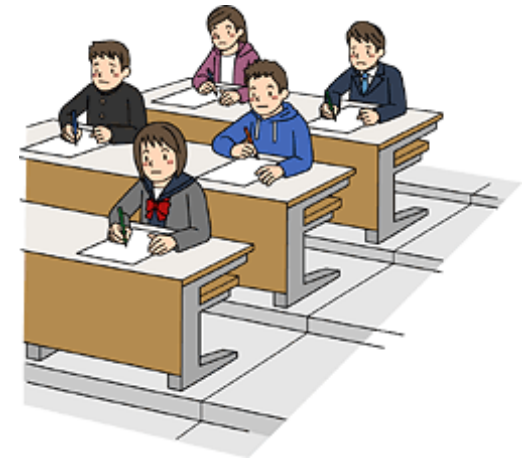
Q 3 : それではお聞きします。高校入試はどのような「価値(大切さ)」があるとお考えですか。そもそも、高校入試に向けての勉強は、将来役に立つのですか。

A : (1) 高校入試の出題範囲は、各教科とも「中学1年生から3年生までに学ぶ全範囲」です。

(2) ですから、高校入試に向けての勉強をすることで、中学1年生から3年生までの全範囲を、  
学び直し、理解し、定着(身につける)ことができます。

(3) このように、高校入試に向けての勉強をすることで、各教科、中学3年間で学ぶことをすべて理解し、定着  
させて(身につけて)、高校に進学することができます。

(4) これが、高校入試に向けての勉強で、一番「価値」がある、大切なポイントです。



#### Q 4 : なぜですか。

- A : (1)なぜなら、高校で学ぶ、各教科の勉強の内容は、中学3年間の勉強の上に成り立っているからです。
- (2)もちろん、高校の各教科の授業の中では、中学校で学んだ内容の復習をしてくれる先生もいますが、高校では、中学校で学んだ内容をよく理解し、よく身につけている(定着させている)ことを前提に、授業が行われるからです。
- (3)高校入試に向けての勉強を通して、中学校で学ぶことをよく理解し、身につけた「高校生」は、高校での勉強を、よく理解し、身につける(定着させる)ことができます。そして、高校でよい成績をとることができます。
- (4)このように、あやふやであった、中学校の各教科の知識を、高校入試のための勉強で、しっかりとしたものにすることができます。
- (5)あやふやな知識のまま高校に進学するとどうなるか。  
高校の各教科の内容を、十分に理解できずに、毎日を過ごすことになります。
- (6)高校でも「定期試験」があります。「高校入試に向けての勉強」を通して、中学校の内容をしっかり身につけておけば、高校での「定期試験」でもよい点数が取れます。
- (7)高校を卒業後、多くの皆さまが、大学・短期大学・専門学校・専修学校に進学なさいます。「大学入試」も、中学校・高校で勉強する内容が身につけていないと、合格点を取ることは、極めて難しい。
- (8)「大学などでの勉強」も、中学校・高校で学ぶ内容が身につけていないと、理解することが難しい。

Q 5 : なるほど、中学校で学ぶ内容は、高校や、その上の大学などで役に立つことはわかりました。では、中学校の各教科で学ぶ内容は、社会に出て役に立つのですか。

A : (1)①中学校・高校で学ぶ内容は、学校を卒業し、「仕事」をするとき、「社会的な活動」をするとき、「日常生活」をするとき、更(さら)には、「よく生きる」上で、すべて役に立ちます。

②役に立たないことは、一つもありません。

③全部、役に立ちます。

(2)①ですから、ぜひおすすめしたいのは、中学校・高校で学んだ、すべての教科の教科書は、決して処分しないことです。

②「学校教科書」だけでなく、辞書・地図帳・授業ノートなども、大切に、大切に、保管。

③学校での授業を思い出しながら、一生かけて、繰り返し、学び直すことです。

④そうすれば、素晴らしい、充実した人生が送れます。

⑤「学校教科書」さえあれば、何歳になっても、すべて思い出すことができます。そこから、次のステップに進めます。

(3)学校で学ぶことで役に立つのは、教科の勉強だけではありません。

「教科外教育」も、社会に出て、とても役に立ちます。



(4)①入学式・卒業式や終業式、文化祭や運動会、芸術鑑賞や修学旅行などの学校行事。

②当番や委員会などの学級会活動、部活動や生徒会活動なども、社会に出て、すべて役に立ちます。

③日本人の多くは、礼節を身につけ、礼儀正しい。

④自分のことを大切にすると同時に、相手のことを思いやる。

⑤規律正しく行動することができる。集団行動もできる。

⑥これらは、学校での「教科外教育」の素晴らしい成果です。

⑦是非、自分から進んで参加してくださいね。



<ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク（Ⅱ）」です>

(1)皆様には好きな教科は何ですか。

---

(2)好きな教科外教科は何ですか。

---

Q 6 : 「入試に向けた効果的な学習方法」をお話してください。

A : (1)①入試に向けた勉強で一番大切なのは、「自覚をもって学ぶ」ことです。

②自分は、来年、高校入試を受験する、受験生であるということを、しっかり「自覚」、自分にいい聞かせて、受験勉強に励むことです。

③「受験生としての自覚」をもって勉強することです。

(2)①「受験勉強の価値(大切さ)」を自分の力で、しっかり考える。

②その上で、自分にとって受験勉強の「意味」を考え、自分の力で「意味付け」を行う。

③そして、では、「受験生としてどのような行動をとるか」「今、やるべきことは何か」「今、やらないことは何か」などを自分の力で考え、決定する(自己決定)。自分で決めたルールを守り、自律的に行動する。「秩序」正しく行動する。

(3)ですから、高校入試は、皆様の将来、人生にとって、とても大切です。

「価値(大切さ)」、「意味」、「秩序」を自分の力で考えることが受験勉強では最重要です。





Q7：もう少し具体的にお話してください。

A：各教科の「効果の上がる受験勉強の仕方」に入る前に、あと2つ大切なことがあります。

(1)その第一は、「読解力」を身につけることです。

①「読解力」とは、「正確に、読み解く力」です。

②高校入試では、各教科の問題文(問題本文・設問・選択肢など)の内容を、最後まで、試験時間内に、正確に読み解き、正解を導く「読解力」が欠かせません。

③受験勉強に用いる「学校教科書」や「参考書」「問題集」などを、「正確に、読み解く」ときにも、「読解力」は欠かせません。

(2)この「読解力」を身につけるのに、とても役立つのが、「辞書」「新聞」「読書」「図書館(学校図書館、公共図書館)」、この4つの活用です。

(3)①「辞書」：「ことばの数」「語彙数」を増やす。

(i)意味のよくわからない語句があったら、「気持ちが悪い」と考える。そして、辞書、教科書、インターネットを用いて、その意味を調べる。

(ii)「辞書」で調べた内容は、「各教科の意味調べノートに書き写す」。

(iii)その場で、意味を覚える。「音読練習」、「書き取り練習」を！

(iv)「ことばは力」、「語彙数は力」です！

(v)一つでも多くのことばの意味を知り、自分で使えるようにすることが「読解力」アップの第一歩です。



②「新聞」：新聞を読んで、「自分で考える力」「批判的思考能力」を身につける。

(i)新聞を、毎日、30分以上、一面から読む。

(ii)社会の出来事を知る。

(iii)新聞を読み、新しいことを、速いスピードで、正確に、論理的・分析的に、理解する力を身につける。

(iv)気に入った記事があったら、切り抜き、コメントを書き、スクラップブックに貼る。

○後で、「分野別(ジャンル別)」に分類。

○英検準2級に合格したら「英字新聞」にも挑戦。「英語による読解力」も身につける。

③「読書」：「読書」で、「思慮深さ」「自分を振り返る力(自省心)」「表現力」を身につける。

(i)学校の教科書で紹介されている本や図書館の本を読む。

(ii)本は最後まで読む。本は何回も読む。本は6回読む。

(iii)気に入った作家の本は、全部読む。本は、全集で読む。

(iv)気に入った語句や文章は、「書き抜き読書ノート」に「書き写す」。

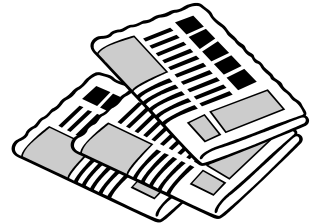
④「図書館(学校図書館・公共図書館)」

(i)図書館には毎日出かけ、「辞書、新聞、読書」を最大活用。

(ii)「調べ学習」「探究学習」は「図書館」が一番。

(iii)「図書館を、一生、自分の居場所の一つ」にする。

○大学では、「大学の図書館」に毎日行き、徹底活用！



Q 8 : 「読解力」の他に、もう一つ大切なのは、何ですか。

A : 「長時間自己学習能力」です。「長い時間、自分で学習する力」が大切です。

(1) ①高校入試では5教科、中学1年生から3年生までに学ぶ内容が、出題されます。

②問題練習も欠かせません。

③ですから、入学試験前日まで、できるだけたくさんの学習時間を確保、  
長時間集中して、じっくり取り組むことが求められます。

(2) ①「いくら悩んでも成績は上がらない」。

②「悩む時間は、30分まで」。

③「悩む暇があったら、受験勉強をしよう！」

(3) ①ケンカはなるべくしない。

②なぜなら、ケンカをすると、心が落ち着くまでの数時間は、勉強ができなくなるからです。

③ケンカしそうになったら、その場から離れる。

(4) 「勉強時間中は、スマホは別の場所に保管」する。

(5) ①夜は、11時30分～12時までコツコツ勉強。

②学校のない日は、もし、できるのなら、午前中4時間、午後は4時間、夜は4時間は勉強。

③受験前日まで、なるべく、夜、寝る時間以外は勉強、勉強時間を確保・

④お昼寝も遠慮なく行う。疲れたら横になり、体を休める。受験は体力勝負、身体を鍛える！

⑤軽い体操や、家の手伝いで気分転換する。

⑥感謝の心をもって受験勉強を行う。



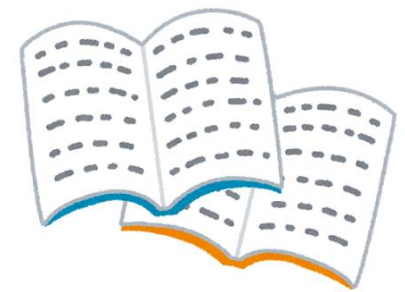
Q9：不得意科目や、各教科の不得意分野は、どのように勉強したらよいのですか。

- A：(1)これから、毎日のように、過去に出た問題(過去問)や予想問題、模擬試験などの問題を解くこととされます。
- (2)問題を解き終え、採点後に、一喜一憂、その都度、喜んだり、悲しんだり、悩んだり、落ち込んだりしないこと。
- (3)受験生として行った方がよいことは、「誤答分析(どこを間違えたのか、なぜ間違えたのかを、自分の力で、冷静に分析)」を行うことです。
- (4)「ケアレスミス」なら、問題文や設問、選択肢を、ていねいに、落ち着いて読むよう心がけ、「もう2～3回、同じ問題を解き直す」ことをおすすめします。



Q10：「誤答分析」をし、そもそも、基礎的なことがよくわからないために、答えられなかった場合にはどうしたらよいですか。

- A : (1) 「よくわからないところまで、遡る。「学校の教科書」や「やさしめの学年別参考書」を用い、その分野を、じっくり腰を据えて、一語一語、ていねいに、勉強し直す。
- (2) 重要な「語句(ことば)」の「意味(定義)」は、「まとめノート」に書き写す。「どのような内容なのか」「なぜ、そうなるのか」などを考える。
- (3) ①「数学」は、なぜそのような答えになるのか、「学校教科書」や「学年別参考書」、「学年別問題集」の「解答・解説」をしっかり読んで、考える。
- ②先生の授業をお聞きするようなつもりで、「解答解説」を、ていねいに、ノートに書き写す。
- ③どうしてもわからなければ、先生に質問。



Q11：このようにして、「一度解いた問題」の内容を「復習」した後は、どうしたらよいですか。

A：(1)一度解き、「復習」し終わったら、すべての「問題」の「本文」「設問」「選択肢」「解答・解説」を用いて、

①スラスラよく読めるようになるまで、「音読練習(暗唱)」を！

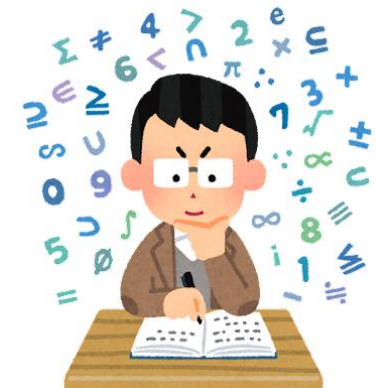
②正確に書けるようになるまで、「書き取り練習(暗記)」を！

③正解がパッパッと出てくるまで、「計算・問題練習」！

○以上を繰り返し、「定着(身につける)」ことをおすすめします。

(2)中1から中3の「学校教科書は、すみからすみまで、全部覚える」

(3)「入学試験の過去問(数年分)」とその「解答解説」は、何回も解き直し、全部覚える



Q12：高校入試に向け、学ぶ目的は何ですか。

- A : (1)もちろん、「第一志望校合格」です。「高校の授業内容に耐えられるだけの基礎学力を、しっかり身につけること」も大事。
- (2)これからの勉強で目指していただきたいのは、学んだことの「深い理解」です。「深い理解」とは「自分のことばでいえる(表現・説明できる)こと」です。
- (3)一度学んだことを「自分のことばでいえる(表現・説明できるようにすること)」、更には、自分の考えを自分のことばでいえる(表現・説明できる)ことが、「面接試験」では最も大切です。
- (4)そして、この高校入試に向けての勉強で、
- ①「自分から進んで学ぶ力」
  - ②「主体的に学ぶ力」
  - ③「自己学習能力」を自分の力で身につける。
- (5)さらには、
- ①「多様な選択肢のある人生を歩む」
  - ②「正常に機能する社会の形成に貢献する」
  - ③「自己責任」「自助努力」「自分の未来は、自分で切り開く」
  - ④「あきらめないで」「Never Give Up!!」
  - ⑤「If you can dream, you can do it!!」(もし、あなたが夢を見ることができれば、あなたはそれを成し遂げることができる)
- 「自分のよいところ(潜在可能性)を自分の力で見つけ出し、自分の力で伸ばす」

感謝

ご清聴、ありがとうございます。

ご質問、ご意見、ご批判、コメントなどあれば、自由にご発言ください。